



SCR 第0724001号

平成29年7月24日

各都道府県医務主管部（局）長 様

独立行政法人福祉医療機構

経営サポートセンター長



平成29年度 医療施設整備・機能強化セミナーにおける周知のご協力について（依頼）

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当機構の業務につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度当機構では、医療機関の運営に携わる方々を対象に、別添のとおり「平成29年度 医療施設整備・機能強化セミナー」を開催いたします。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ではございますが、貴職管内の受講対象者、市町村および関係団体等への周知のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

今後ともなお一層のご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター

リサーチグループ セミナーチーム

〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷ビル9階

TEL 03-3438-9932 FAX 03-3438-0371

平成29年度 医療施設整備・機能強化セミナー 開催要領

—地域医療構想と次期報酬改定を見据えたこれからの急性期医療の役割—

1. 開催趣旨

団塊の世代が75歳以上を迎える2025年に向け、各都道府県では「地域医療構想」が策定され、病床の機能分化・連携を推進するための医療需要と病床の必要量が示されたところです。今後、各都道府県ではこの構想をベースに地域医療構想調整会議を設置して、病床機能の再編成と必要病床の確保を行うべく協議することとされています。

今年度は、平成30年度からの第7次医療計画、第7期介護保険事業計画の策定が控えるとともに、診療・介護報酬の同時改定が予定されるなど、これからの医療・介護を取り巻く施策の具体的な方向性が明らかとなる節目の時期でもあります。

そこで、今回のセミナーでは、地域医療構想を中心とした政策動向、次期報酬改定の動向を探るとともに、時代のニーズにあった経営ビジョンを構築し、良質な医療を効率的・効果的に提供するための実践事例を学ぶことで、これからの急性期医療に求められる役割とは何か、その針路をみなさまとともに考えます。

2. 主催 独立行政法人福祉医療機構

3. 開催日 【東京】平成29年10月 6日（金） 【大阪】平成29年10月13日（金）

4. 会場 【東京】新霞が関ビル「全社協・灘尾ホール」（東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルLB階） ※東京メトロ「霞ヶ関駅」、「虎ノ門駅」から徒歩 【大阪】毎日新聞ビル「オーバルホール」（大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル地下1階） ※JR「大阪駅（桜橋口）」、地下鉄「西梅田駅」から徒歩

5. 定員及び受講対象者 【東京・大阪会場】各200名程度 医療機関を経営する理事長、院長、事務長など施設経営に携わる方

6. 受講料 1名 8,640円（消費税込） ※受講料の事前振込が必要となります。

7. 受講申込受付開始日時 平成29年7月31日（月） 午前10時から ※ お申込みは先着順とし、定員になり次第締め切ることといたします。 なお、お申込みいただいた時点で定員に達している場合は、お電話にてご連絡申し上げます。 ※ 受付開始日時以前に送信された「受講申込書」は受領いたしかねますので、ご注意ください。

8. 申込方法 FAXにてお申込みください。（お申込み先は福祉医療機構ではありませんのでご注意願います。） 別添「受講申込書」に必要事項をご記入いただき、次のFAX番号へご送信ください。 FAX番号：03-3595-1119【名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店】機構ホームページから申込書をダウンロードすることも可能です。（トップページ → 新着情報・お知らせ → 障害福祉サービス経営セミナー） ※ お申込み後、登録されたFAX番号に「申込受領書」が送信されます。申込受領書が届かない場合は、 電話番号：03-3595-1121【名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店】までご連絡ください。

9. その他

- ・申込方法、受講料支払等の流れについては、別紙「セミナーお申込みからご受講までの流れ」をご参照ください。
- ・受講料は、セミナー開催日14日前までに指定された口座にご入金ください（当日の現金払いは不可）。
- ・受講料に昼食代は含まれておりません。
- ・交通手段・駐車場・宿泊先等は、受講者ご自身でのご準備・ご確認をお願いいたします。
- ・都合により講師や講義内容等に変更が生ずる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

受付に関するお問い合わせ

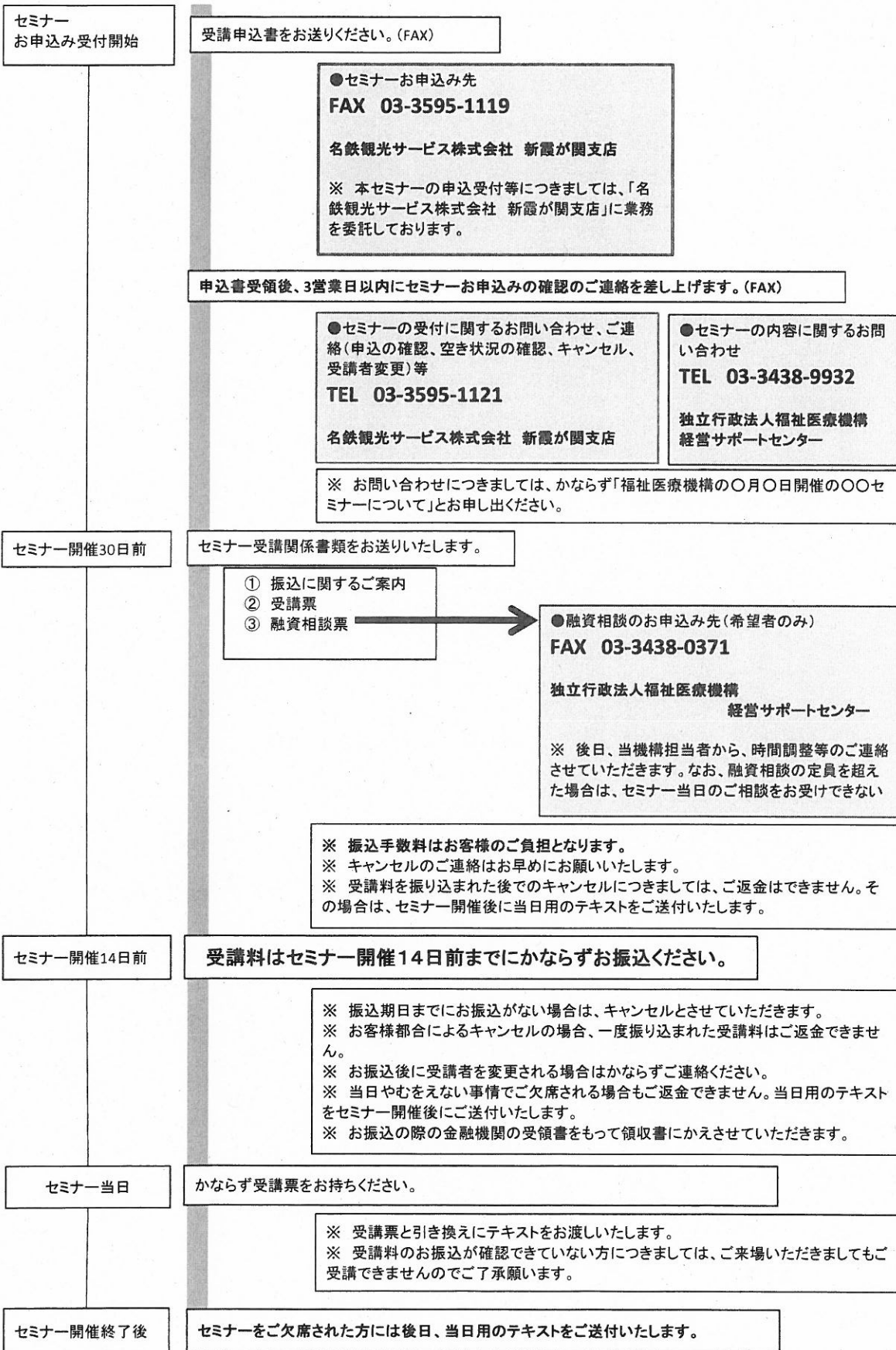
名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店
TEL：03-3595-1121

セミナー内容に関するお問い合わせ

独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター
TEL：03-3438-9932

(別紙)

セミナーお申込みからご受講までの流れ



※ 日付に関してはあくまでも目安であり、各セミナーごとに異なる場合がございます。予めご了承ください。

当機構の事業運営につきましては、平素より格別のご愛顧を賜りまして、心より御礼申し上げます。経営セミナーの内容をご検討いただき、是非ご受講いただければ幸いです。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

医療施設整備・機能強化経営セミナー

—地域医療構想と次期報酬改定を見据えたこれからの急性期医療の役割—

主催：独立行政法人福祉医療機構

団塊の世代が75歳以上を迎える2025年に向け、各都道府県では「地域医療構想」が策定され、病床の機能分化・連携を推進するための医療需要と病床の必要量が示されたところです。今後、各都道府県ではこの構想をベースに地域医療構想調整会議を設置して、病床機能の再編成と必要病床の確保を行うべく協議することとされています。

今年度は、平成30年度からの第7次医療計画、第7期介護保険事業計画の策定が控えるとともに、診療・介護報酬の同時改定が予定されるなど、これからの医療・介護を取り巻く施策の具体的な方向性が明らかとなる節目の時期でもあります。

そこで、今回のセミナーでは、地域医療構想を中心とした政策動向、次期報酬改定の動向を探るとともに、時代のニーズにあった経営ビジョンを構築し、良質な医療を効率的・効果的に提供するための実践事例を学ぶことで、これからの急性期医療に求められる役割とは何か、その針路をみなさまとともに考えます。

【東京会場】平成29年10月6日（金）

全社協「灘尾ホール」東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビルL B階
（東京メトロ「霞ヶ関」駅から徒歩8分、「虎ノ門」駅から徒歩5分）

日程・会場等

【大阪会場】平成29年10月13日（金）

毎日新聞ビル「オールホール」大阪府大阪市北区梅田3-4-5
毎日新聞ビル地下1階
（JR「大阪駅」桜橋口から徒歩8分、地下鉄御堂筋線「梅田駅」から徒歩10分）

【東京会場】

- 9:30~10:00 受付
- 10:00~10:20 オリエンテーション
開会のあいさつ 独立行政法人 福祉医療機構
ごあいさつ 公益社団法人 日本医師会
- 10:20~11:50 「地域医療構想を俯瞰したこれからの病院のポジショニング(仮題)」
＜講師＞東京大学政策ビジョン研究センター
特任教授 尾形 裕也 氏
- 11:50~12:00 「医療貸付事業の概要について(仮題)」
＜説明者＞独立行政法人福祉医療機構 福祉医療貸付部
- 12:00~13:00 休憩（簡易融資相談コーナー）
- 13:00~14:20 「次期診療・介護報酬同時改定が目指す変革と急性期医療の役割(仮題)」
＜講師＞独立行政法人地域医療機能推進機構
東京山手メディカルセンター 院長 万代 恭嗣 氏
- 14:30~15:50 「医療機関間の機能分担と連携～地域に求められる病院を目指して～(仮題)」
＜講師＞社会医療法人緑社会 金田病院 理事長 金田 道弘 氏
- 16:00~16:30 「経営分析参考指標からみた病院の経営状況(仮題)」
＜説明者＞独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター リサーチグループ

【大阪会場】

- 9:30~10:10 受付
- 10:10~10:20 オリエンテーション
開会のあいさつ 独立行政法人 福祉医療機構
- 10:20~11:50 「地域医療構想を俯瞰したこれからの病院のポジショニング(仮題)」
＜講師＞国際医療福祉大学 医療福祉学部
教授 高橋 泰 氏
- 11:50~12:00 「医療貸付事業の概要について(仮題)」
＜説明者＞独立行政法人福祉医療機構 福祉医療貸付部
- 12:00~13:00 休憩（簡易融資相談コーナー）
- 13:00~14:20 「次期診療・介護報酬同時改定が目指す変革と急性期医療の役割(仮題)」
＜講師＞独立行政法人地域医療機能推進機構
東京山手メディカルセンター 院長 万代 恭嗣 氏
- 14:30~15:50 「医療機関間の機能分担と連携～地域に求められる病院を目指して～(仮題)」
＜講師＞社会医療法人緑社会 金田病院 理事長 金田 道弘 氏
- 16:00~16:30 「経営分析参考指標からみた病院の経営状況(仮題)」
＜説明者＞独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター リサーチグループ

●受講料：1名8,640円（消費税込）

（受講料に昼食代は含みません。宿泊施設や交通手段等はご自身でご準備ください。）

●お申込方法：FAXにてお申込みください。先着順にて受付いたします。

（お申込みから3日以内に受付確認のFAXをお送りいたします。3日以内に届かない場合はご連絡ください。）

●お支払方法：セミナー開催日前に受講料のお支払いが必要です。

（お手続き方法は、受付後にFAXでお送りいたします。また、ホームページにも詳細を掲載しております。）

本セミナーの申込受付等につきましては、「名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店」に業務を委託しております。

TEL：03-3595-1121 FAX：03-3595-1119

 <http://hp.wam.go.jp/>

福祉医療機構

検索

WAM

〒105-8486 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル9階
独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ セミナーチーム
TEL：03-3438-9932 FAX：03-3438-0371

WAM 医療施設整備・機能強化セミナー【東京会場】

—地域医療構想と次期報酬改定を見据えたこれからの急性期医療の役割—

【主 催】独立行政法人福祉医療機構

【開催日】平成 29 年 10 月 6 日（金）

【会 場】新霞が関ビル・全社協賛尾ホール
（東京都千代田区霞が関）

団塊の世代が 75 歳以上を迎える 2025 年に向け、各都道府県では「地域医療構想」が策定され、病床の機能分化・連携を推進するための医療需要と病床の必要量が示されたところです。今後、各都道府県ではこの構想をベースに地域医療構想調整会議を設置して、病床機能の再編成と必要病床の確保を行うべく協議することとされています。

今年度は、平成 30 年度からの第 7 次医療計画、第 7 期介護保険事業計画の策定が控えるとともに、診療・介護報酬の同時改定が予定されるなど、これからの医療・介護を取り巻く施策の具体的な方向性が明らかとなる節目の時期でもあります。

そこで、今回のセミナーでは、地域医療構想を中心とした政策動向、次期報酬改定の動向を探るとともに、時代のニーズにあった経営ビジョンを構築し、良質な医療を効率的・効果的に提供するための実践事例を学ぶことで、これからの急性期医療に求められる役割とは何か、その針路をみなさまとともに考えます。

09:30~10:00	受 付（30 分）
10:00~10:20 （20 分）	オリエンテーション 開会のあいさつ 独立行政法人 福祉医療機構 ごあいさつ 公益社団法人 日本医師会
10:20~11:50 （90 分）	「地域医療構想を俯瞰したこれからの病院のポジショニング（仮題）」 〈講師〉 東京大学 政策ビジョン研究センター 特任教授 尾 形 裕 也 氏
11:50~12:00 （10 分）	「医療貸付事業の概要について（仮題）」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 福祉医療貸付部
12:00~13:00	休 憩（60 分）～融資相談会～
13:00~14:20 （80 分）	「次期診療・介護報酬同時改定が目指す変革と急性期医療の役割（仮題）」 〈講師〉 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 院長 万 代 恭 嗣 氏
14:20~14:30	休 憩（10 分）
14:30~15:50 （80 分）	「医療機関間の機能分担と連携 ～地域に求められる病院を目指して～（仮題）」 〈講師〉 社会医療法人緑社会 金田病院 理事長 金 田 道 弘 氏
15:50~16:00	休 憩（10 分）
16:00~16:30 （30 分）	「経営分析参考指標からみた病院の経営状況（仮題）」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ

※ 講師および講義内容などに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



医療施設整備・機能強化セミナー【大阪会場】

—地域医療構想と次期報酬改定を見据えたこれからの急性期医療の役割—

【主催】独立行政法人福祉医療機構

【開催日】平成 29 年 10 月 13 日（金）

【会場】毎日新聞ビル・オーバルホール

（大阪市北区梅田）

団塊の世代が 75 歳以上を迎える 2025 年に向け、各都道府県では「地域医療構想」が策定され、病床の機能分化・連携を推進するための医療需要と病床の必要量が示されたところです。今後、各都道府県ではこの構想をベースに地域医療構想調整会議を設置して、病床機能の再編成と必要病床の確保を行うべく協議することとされています。

今年度は、平成 30 年度からの第 7 次医療計画、第 7 期介護保険事業計画の策定が控えるとともに、診療・介護報酬の同時改定が予定されるなど、これからの医療・介護を取り巻く施策の具体的な方向性が明らかとなる節目の時期でもあります。

そこで、今回のセミナーでは、地域医療構想を中心とした政策動向、次期報酬改定の動向を探るとともに、時代のニーズにあった経営ビジョンを構築し、良質な医療を効率的・効果的に提供するための実践事例を学ぶことで、これからの急性期医療に求められる役割とは何か、その針路をみなさまとともに考えます。

09:30~10:10	受付（40 分）
10:10~10:20 （10 分）	オリエンテーション 開会のあいさつ 独立行政法人 福祉医療機構
10:20~11:50 （90 分）	「地域医療構想を俯瞰したこれからの病院のポジショニング（仮題）」 〈講師〉 国際医療福祉大学 医療福祉学部 教授 高橋 泰 氏
11:50~12:00 （10 分）	「医療貸付事業の概要について（仮題）」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 福祉医療貸付部
12:00~13:00	休憩（60 分）～融資相談会～
13:00~14:20 （80 分）	「次期診療・介護報酬同時改定が目指す変革と急性期医療の役割（仮題）」 〈講師〉 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 院長 万代 恭嗣 氏
14:20~14:30	休憩（10 分）
14:30~15:50 （80 分）	「医療機関間の機能分担と連携 ～地域に求められる病院を目指して～（仮題）」 〈講師〉 社会医療法人緑社会 金田病院 理事長 金田 道弘 氏
15:50~16:00	休憩（10 分）
16:00~16:30 （30 分）	「経営分析参考指標からみた病院の経営状況（仮題）」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター リサーチグループ

※ 講師および講義内容などに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。